

小学校のわらい

のびのびと絵を描いたり、材料を工夫して作ったりすることができる。

カリキュラムNo.64…考える子ども…

伝えたいことを言葉や体で表すことができる。

カリキュラム NO. 65…考える子ども…

つくろう！あそぼう！
～保育園との交流会に向けて～

11月

石鳥谷小学校

☆ 今までの流れ ☆

- ・「おもちゃをつくろう」（5時間）・・・集めた葉や木の実、身の回りのものを使って、おもちゃや楽器を工夫して作り、おもちゃを作り出すおもしろさや、自然の不思議さに気づくようにしていく。
- ・「みんなであそぼう」（4時間）・・・作ったおもちゃで友達と遊びながら、遊び方を工夫しみんなで遊びを楽しむことができるようにする。
- ・作ったおもちゃを使って保育園の園児たちと交流会を開くことを知らせる。

☆ 交流会までの経過 ☆

活動の流れ	子どもの姿・子ども同士のかかわり（○）	指導者の支援（◎）
○交流会では、どんなおもちゃ・遊びがいいか考える。	○自分たちが作ったおもちゃの中から、園児たちが作ったり遊んだりできそうなものを考える。 「マラカス、けん玉はすぐできるね。」 「細長いどんぐりは、針がささらない。まるいくヌギのどんぐりがよかった。」 「まといれば、作るのは大変だから、遊ぶだけにしよう」・・・など、自分たちの経験から園児のことを思い浮かべて考え、足りないものを付け足して作っている。	◎園児ができそうなもの、楽しめそうなもの、短い時間でできるものなど児童と一緒に考えながら、交流会をイメージできるように声掛けをする。
○交流会の流れを知り、準備をする。 児童の役割 司会、はじめ・おわりの言葉、歓迎の言葉、おもちゃ紹介、感想発表	○自分の役割を知り、どんなことを話したり、表現したりしたらいいか考える。 ○おもちゃの紹介の練習をする。 おもちゃを見せながら・・・ 名前・材料・作り方・遊び方を簡単に話す。 「もっと声を大きくしないと伝わらないなあ。」 「じゃあ、歌を歌おう。」「EXILE がいい！」「保育園の人分かるかな。」「じゃあ、きらきらぼしは？」「みんな知っていると思うよ。」 歌いながら自然に踊りだし・・・ 「踊りましょう！」 と、どんどんイメージを膨らませておもちゃ紹介の練習を進めて行った。 ○休み時間も声を掛け合って練習している。	◎交流会の流れは、保育園との事前打ち合わせで決まっていたため、交流会の流れを児童に下ろし、役割を決め、練習時間を設定した。 ◎どのようにおもちゃを紹介したら、「作りたい！遊びたい！」と思ってもらえるか考えるように話し合う時間を設ける。 ◎「マラカスやたいこは、音を出すだけでは楽しさがつたわらないかもしれないね。」という働きかけをする。
○1年生全体でのリハーサル	○交流会の流れをつかむ。 ・自分の役割や動き、グループ活動の仕方などが分かる。	◎事前アンケートで、自分がお世話できるか不安をもっていた児童もいたため、こういうときは、どうすればいいかという意見を出し合うことでイメージできるようにする。

☆ 考 察 ☆

自分たちのおもちゃ作りのときから、保育園児を思い浮かべながら、相手意識をもって取り組むことができた。自分のこと以外に考えることがあるので、おもちゃ作りや発表の仕方に工夫が生まれ、自分たちも楽しみながら活動することができた。また、交流会を進める中で、考えを伝え合うなど1年生同士の交流も深めるよい機会となった。

